

エレベーター改修工事費用の助成金額の例
(マンション、病院並びに高齢者及び障害者の施設の場合)

例1：エレベーターの改修工事に伴い、戸開走行保護装置設置、地震時等管制運転装置設置、耐震対策を行う場合。

エレベーター改修工事費用 600 万円

(助成上限額：改修工事費用の 2/3 → 600 万円×2/3=400 万円)

内訳(例)	本体工事	150 万円		
	戸開走行保護装置	280 万円	→ 280 万円 × 100% =	280 万円 ≤ 上限 300 万円
	地震時等管制運転装置	80 万円	→ 80 万円 × 2/3 =	53.3 万円
	耐震対策	90 万円	→ 90 万円 × 2/3 =	60 万円
				280 万円 + 53.3 万円 + 60 万円 = 393.3 万円

上記によって計算された金額は、1 万円未満の端数を切り捨てて、エレベーター改修工事費用 600 万円の 2/3 以下なので、助成金額は **393 万円** となります。

例2：戸開走行保護装置を設置する場合。

エレベーター改修工事費用 150 万円

(助成上限額：改修工事費用の 2/3 → 150 万円×2/3=100 万円)

内訳(例)	本体工事	0 万円		
	戸開走行保護装置	150 万円	→ 150 万円 × 100% =	150 万円 ≤ 上限 300 万円
	地震時等管制運転装置	0 万円	→ 0 万円 × 2/3 =	0 万円
	耐震対策	0 万円	→ 0 万円 × 2/3 =	0 万円
				150 万円 + 0 万円 + 0 万円 = 150 万円

上記によって計算された金額は、エレベーター改修工事費用 150 万円の 2/3 を超えるので、助成金額は **100 万円** となります。

例 3: 戸開走行保護装置は設置済みで、地震時等管制運転装置設置、耐震対策を行う場合。

エレベーター改修工事費用 1000 万円

(助成上限額：改修工事費用の 2/3 → 1000 万円 × 2/3 = 666.6 万円)

内訳(例)	本体工事	600 万円		
	戸開走行保護装置	設置済み		
	地震時等管制運転装置	200 万円	→ 200 万円 × 2/3 =	133.3 万円
	耐震対策	200 万円	→ 200 万円 × 2/3 =	133.3 万円

$$133.3 \text{ 万円} + 133.3 \text{ 万円} = \mathbf{266.6 \text{ 万円}}$$

上記によって計算された金額は、1 万円未満の端数を切り捨てて、エレベーター改修工事費用 1000 万円の 2/3 以下なので、助成金額は **266 万円** となります。